

植生護岸ブロック ベジポーラス

護岸ブロックとして必要な強度確保と、植物が根付き若しくは根毛が通り抜けて路盤に届くことを目的に開発されました。ポーラスコンクリートでありながら洗掘防止にもなり、製品の厚みを薄くできることで、植生に有利な製品となっています。



特長

- ・重量骨材を使用することにより、通常のポーラスコンクリート製品に比べ20%肉厚が薄く、植物の根の進入が容易です。植生の早期復元効果が期待できます。
- ・骨材に含まれる含有鉄分(二価鉄イオン)が植生機能を向上させます。
- ・護岸ブロック水理特性値証明書を取得しており、安心してご使用いただけます。(証明書番号0134号)
- ・表面が凸凹構造のため、広い植生面積の確保が可能です。



施工後3ヶ月経過



施工後6ヶ月経過

01

ボックス
カルバート

02

コンクリート
床版

03

擁壁

04

道路用製品
VS側溝

05

道路用製品
側溝

06

道路用製品
境界ブロック

07

柵

08

ポラコン製品

09

名古屋市製品

10

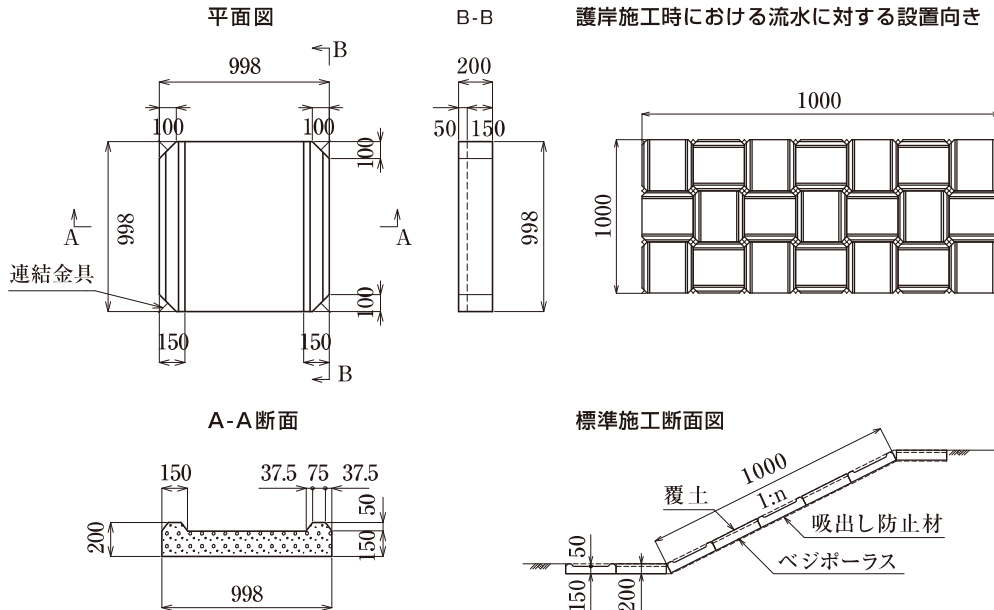
その他製品

11

会社概要

植生護岸ブロック ベジポーラス

製品形状



呼び名	コンクリート種類	参考重量 (kg)	対応流速 (m/s)	体積 (m ³)	平面積 (揚力作用面積) (m ²)	正面積 (抗力作用面積) (m ²)
ベジポーラス	ポーラスコンクリート	370	7.5	0.156	0.976	A:0.161
						B:0.200

※設計対応流速は護岸勾配1:2.0、設計水深5.0mでの計算値です。

施工方法

- ① 法面整形: 所定の勾配に整形し、必要に応じて吸出し防止材を敷設します。
- ② 据え付け: 製品4隅のフックを利用し、クレーンで据え付けます。
隣接する製品の向きを変えて敷設します。
- ③ 製品連結: 製品4隅のフックを、金具で連結します。連結部の間詰め材料は、護岸強度を重視するときはコンクリートを、環境を重視するときは現地発生土を使います。
- ④ 覆土: 覆土は種の攪乱防止のため5cm程の厚みで、現地発生土使用を原則として、コンクリートが露出しない多自然型河川景観を再生します。必要に応じて、生態系を乱さない種子をまくこともできます。

歩掛表

(100㎡当り)

名称	規格	数量	単位	摘要	
製品	998×998×200/150	100	個	参考質量370kg/個	
据付工	世話役	1	個		
	ブロック工	2	人		
	特殊作業員	2	人		
	普通作業員	5	人		
	トラッククレーン	油圧式15~16t吊	1	人	
吸出し防止材		t=10mm	112	m ²	k=1.2
	普通作業員	吸出し防止材設置	0.6	人	
諸雑費		1	式	5%(労務+運転)	
覆土工	現地発生土	現地発生土	4.15	m ³	0.0388m ³ /m ² k=1.07

01

ボックス
カルバート

02

コンクリート
床版

03

擁壁

04

道路用製品
VS側溝

05

道路用製品
側溝

06

道路用製品
境界ブロック

07

樹

08

ポラコン製品

09

名古屋市製品

10

その他製品

11

会社概要